

市議会だより

ごとう

第39号

平成26年5月1日発行

編集・発行

五島市議会広報特別委員会

五島市福江町1番1号

TEL.0959-72-7923



五島街コン「しまのわ」

3月1日(土) 五島初の『五島街コン「しまのわ」』が開催されました。
島内外から182名の参加があり、商店街と一体となって、地域を盛り上げました。

写真は西日本新聞社提供

3月定例会の あらまし

3月定例会は、3月5日から3月27日までの23日間の日程で開催されました。10日から12日には、12名の議員が一般質問を行い、13日から25日は、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、平成25年度補正予算6件、平成26年度当初予算14件、条例等37件、議会議案5件を可決し、陳情1件、報告4件、人事案件1件を承認しました。

目

次

平成26年度当初予算内訳

P2

平成26年度当初予算の主な事業

P3

一般質問

P4

委員会審査

P10

議決結果、賛否一覧表

P11

行政調査、特別委員会の設置、

編集後記

P12

平成26年度当初予算を可決

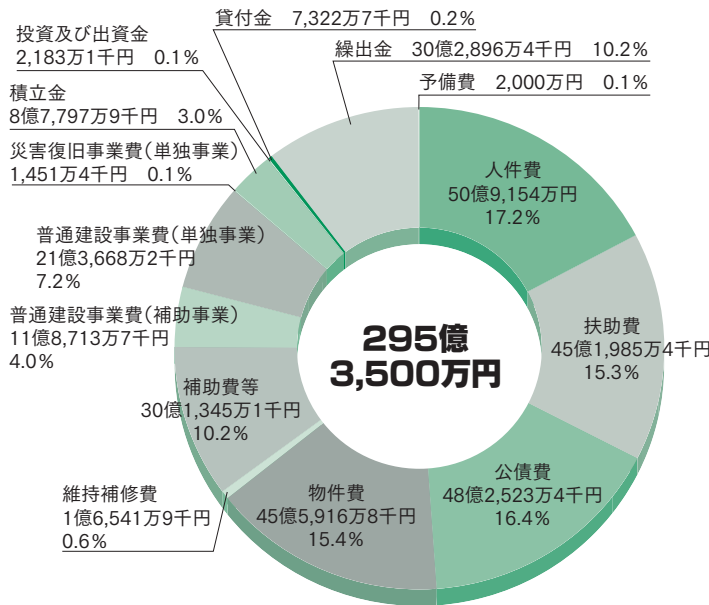
総括表

(単位：％)

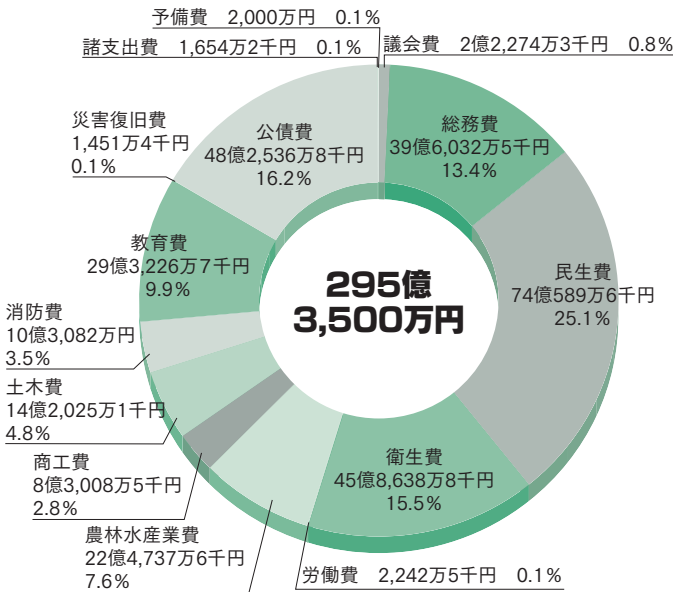
会 計 名		平成26年度	平成25年度	増 減 額	増減率
一 般 会 計		295億3,500万円	314億800万円	△18億7,300万円	△6.0
特 別 会 計	国民健康保険事業	70億8,044万1千円	72億2,481万2千円	△1億4,437万1千円	△2.0
	事業勘定	65億4,828万5千円	66億9,822万6千円	△1億4,994万1千円	△2.2
	直営診療施設勘定	5億3,215万6千円	5億2,658万6千円	557万円	1.1
	介護保険事業	59億4,414万8千円	59億9,392万7千円	△4,977万9千円	△0.8
	事業勘定	58億9,656万2千円	59億4,676万8千円	△5,020万6千円	△0.8
	介護サービス事業勘定	4,758万6千円	4,715万9千円	42万7千円	0.9
	後期高齢者医療	5億267万2千円	4億7,962万4千円	2,304万8千円	4.8
	診療所事業	8,220万2千円	9,215万円	△994万8千円	△10.8
	簡易水道事業	6億6,575万1千円	5億8,919万8千円	7,655万3千円	13.0
	と畜場事業	0	1,860万9千円	△1,860万9千円	皆減
	大浜財産区	691万9千円	611万8千円	80万1千円	13.1
	本山財産区	275万円	262万2千円	12万8千円	4.9
	下水道事業	559万8千円	940万3千円	△380万5千円	△40.5
	公設小売市場事業	541万1千円	462万9千円	78万2千円	16.9
	港湾整備事業	2,529万4千円	2,493万3千円	36万1千円	1.4
	交通船事業	4,247万3千円	4,371万円	△123万7千円	△2.8
	土地取得事業	2億1,812万4千円	1,028万4千円	2億784万円	2,021.0
	小 計	145億8,178万3千円	145億1万9千円	8,176万4千円	0.6
合 計		441億1,678万3千円	459億801万9千円	△17億9,123万6千円	△3.9

一般会計（歳出）

性質別予算



目的別予算



当初予算の主な事業

再生可能エネルギー推進事業
452万9千円

- 再生可能エネルギー推進室の設置
- 海洋再生可能エネルギー実証フィールド整備に向けた取り組み
- 再生可能エネルギー導入促進のための啓発事業

プロジェクトG「小学校からの英語習得事業」
1千518万円

- グローバル化社会で活躍できる人材育成
- 文部科学省の小学校英語科導入への積極的な対応
- 平成二十六年度は研究指定校（小学校二校、中学校一校）と併設校（久賀、嵯峨島）で実践
- 小学一年生から英語活動を実施。小学五・六年生の英語の教科化に向けて現行の英語活動から読み・書きを充実
- 英語担当指導主事一名を雇用

東京・福岡事務所開設
2千917万1千円

- 観光客誘致、生産物や加工品の販路拡大のための宣伝活動
- 東京事務所・大村市と共同で事務所開設（職員一名、任期付職員一名配置）
- 福岡事務所・市単独で事務所開設（職員二名、任期付職員一名配置）

世界遺産登録推進事業
2千36万4千円

- 旧五輪教会堂と江上天主堂にそれぞれ教会守を設置
- 「五島市世界遺産登録推進協議会」の活動事業に対して助成
- 教会周辺の電柱移転

地域の絆再生事業
2千188万5千円

- 市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する協議会に助成
- 平成二十六年度は三井楽、奈留、奥浦地区で実施（モデル地区）
- 平成二十七年以降は市内全域に展開予定（公民館区域・十三地区）

市制施行十周年記念事業
2千173万2千円

- 市制施行十周年記念式典
- 郷土芸能まつり
- 子ども市議会の開催
- 全国ラジオ体操



市制施行10周年記念旗

長崎国体開催事業
2億8千757万円

- 市民総参加の「おもてなし」による五島らしい魅力ある大会に

	種 目	日 程
正式競技	剣 道	10/19～21
公開競技	高等学校野球（軟式）	10/13～16
	トライアスロン	10/13
デモンストラーションとしてのスポーツ行事	グラウンドゴルフ	9 / 7
	ペタンク	10/13
	綱 引	10/19



長崎がんばらば国体リハーサル大会

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 老朽空き家に対する市の取り組みは

市の取り組みは

答 実態把握を行い、指導・勧告を行う



三浦 直人 議員

質問 老朽空き家に対する市の取り組みは。

答弁 五島市空き家等の適正管理に関する条例を平成二十五年十月より施行し、空き家対策に取り組んでいる。現在、実態調査を行うとともに、管理不全な状態にあると認められる空き家については、文書による指導を行っている。それでも管理不全な状態が認められる場合は、条例に基づき必要な措置を取るよう勧告していく。

陳情の取り扱いについて

質問 ①平成二十五年度の陳情件数と処理状況は。②陳情の必要性

③陳情に対する行政サービスとは。

答弁 ①現時点での陳情件数は、三百七十六件で、そのうち処理した件数は、二百一件。総件数の三分の一が支所管内、残り三分の二が本庁管内である。②積極的に地域に出て、いろいろな活動に参加することで、地域課題を見つけ、市民の要望に応えたいと考えている。しかし、すべてを市役所だけで把握していくことは非常に困難であることから、現在の町内会や、あるいは市民からの陳情というスタイルも必要であると考えている。③市政懇談会、地域審議会、市長への手紙などでも、地域の課題や要望に応じている。今後あらゆる手段を使い、市民の声を聞き、市民満足度の高い行政サービスにつなげていきたい。



市政懇談会

問 日本の宝「しま」体感交流事業の成果は

感交流事業の成果は

答 多数の参加者があり、目的は果たせたと考える



明石 博文 議員

質問 一月に行われた体感交流事業の成果と第二弾の開催は。

答弁 本年度については奈留島で開催し、観光・木工ストラップ制作・すり身作りの体験等を行い、中央公民館の出会いめぐりあい事業と合同で実施したことで、交流会の参加者は三十名を超えた。ま



しま体感交流事業

た参加したいとの意見も多数あり、目的は果たせたと考える。県の助成が次年度まで続くこともあり、次回もぜひ開催したい。

特定健診の受診率向上について

質問 町内会単位での取り組み状況と今後の受診率向上に向けての取り組みは。

答弁 二百四十七町内会のうち百七十九町内会が参加しており、一月末の受診率は、三十五・四％で、前年同期と比較して三・七％の増となった。また、今後については、少人数地区の表彰、躍進賞、個人向けの健康ポイント制度の導入など検討していきたい。

自治体交流の状況は

質問 本市の自治体交流・友好都市の状況は。

答弁 友好都市の提携については、単なる友好だけでは難しく、双方にとってメリットがある交流が必要である。そこで、まずは地道な交流を行いながら、しっかりと信頼関係を築いた後、検討していきたい。

問 カネミ油症新認定訴訟の福岡高裁判決について市長の見解はある

答 非常に残念な判決である



草野 久幸 議員

質問 カネミ油症新認定訴訟の福岡高裁判決には、強い怒りを感じるが、市長の見解は。

答弁 非常に残念な判決であり、推移を見守りたい。

質問 「残念な判決」だけではもの足りない。被害者も同じ気持ちだと思うが。

答弁 本市には、三百十三名の被害者があり、いろんな立場や考え方があつた。全体的なことを考えれば、この場で申し上げることは控えたい。

木造校舎の教育上の効果は

質問 木造校舎の教育上の効果は。

答弁 ①子どもたちのストレスを緩和させ、授業での集中力が増す効果。②環境・木を生かした学習

ができること。③室内の温熱環境などの向上。以上三つの効果が期待できると考える。

フルマラソン計画の構想は

質問 五島つばきマラソン大会のフルマラソン計画の構想は。

答弁 交流が盛んなまちづくりを推進するため、県内唯一となるフルマラソンを計画し、関係機関と協議を行い、早い時期に決定したい。参加者の目標としては千名を越える大会を目指し、あらゆる機会にPRを行いたい。



五島つばきマラソン

問 今後の有害鳥獣対策は

答 捕獲を強化していく



村岡 末男 議員

質問 有害鳥獣、特に、イノシシについては、全国的に被害が出ており、国や県も莫大な予算をかけて対策をとっているが、なかなか効果が上がらない。本市においても生息範囲が広がっているが、どのような対策を考えているのか。

答弁 ワイヤーマッシュ柵を設置し、拡散を防止しながら、わなやセンサーカメラを増設し、効率的・積極的な捕獲を行いたい。また、新規狩猟免許取得者への免許取得



イノシシ捕獲用の箱わな

経費の補助、国の事業を活用したシカ、イノシシ捕獲者の経費補助、箱わなの無償貸与を行い、捕獲者の負担軽減に努めたい。

繁殖雌牛導入事業の継続を

質問 現在、県と市で三分の二が補助される安福号等の優良繁殖雌牛導入事業は、平成二十七年までとなっている。今後も継続できないのか。

答弁 畜産農家をはじめ、関係団体の意見、要望を踏まえながら、優良繁殖雌牛の増頭対策を検討していきたい。

富江地区畑地帯総合整備事業の計画は

質問 富江地区畑地帯は道路が狭い、土が浅い等いくつかの難点があり、また、かんがい用パイプライン等の老朽化による漏水も多い。富江地区畑地帯総合整備事業を進めるべきでは。

答弁 二十七年年度までに地元農家や富江地区土地改良区と協議を進め、二十八年年度以降に事業着手に向け、準備を進めていきたい。

問 当初予算についての市長の考えは

答 重要な年と位置づけ、積極的な配分を行った



網本 定信 議員

質問 当初予算についての市長の考えは。

答弁 市制施行十周年を迎える区切りの年であり、将来に向けて大きく飛躍する重要な年と位置づけ、再生可能エネルギー推進事業、潮流発電技術実用化推進事業を実現させ、地元企業の活用、関連企業の誘致、交流人口の拡大、活性化につなげたい。

また、東京・福岡事務所を開設し、観光客誘致、農林水産物加工品の販路拡大を展開し、本市を広くアピールするといった、取り組み等、三つの政策目標に対



浮体式洋上風力発電実証機

して、積極的な配分を行った。

今後の財政運営は

質問 平成二十六年以降の財政運営についての考えは。

答弁 平成二十六年度は、消費税増税等を見据え、積極的な予算編成を行ったが、二十七年以降、普通交付税が段階的に縮減されるため、今後行政のスリム化による歳出の削減や自主財源の確保などに努めていく必要がある。合併算定替えに代わる財政支援はあるものの、今後は事務事業評価を推進するとともに、行革委員会の意見も聞きながら調整したい。

問 ふるさと納税の今後のあり方は

答 各方面にPRしていきたい



谷川 等 議員

質問 地方交付税の合併算定替えが平成二十七年より段階的に縮減され、自主財源が乏しい本市は、ふるさと納税が大きな財源の一つではないかと考えるが、これまでの実績と今後のあり方は。

答弁 平成二十五年度の実績は、現在千八十万円となっており、制

五島市ふるさと納税(寄附金)制度

「ふるさと納税」は、お住まいの地域以外の応援したい自治体へ2,000円を超える寄附をした場合、寄附額に際して所得税や個人住民税から一定額の控除が受けられる制度です。五島市では「ふるさとづくり寄附金」として取り扱っております。



※1 寄附申込書をメール・郵便・またはFAXにて五島市市長公室へご提出いただくが、五島市PRの寄附金申請WEBフォームから直接お申し込みください。
※2 1万円以上のご寄附をいただいた方へ五島市の特産品をお届けします。
※3 控除額の計算方法は「ふるさと納税による税金の軽減」項目をご覧ください。

ふるさと納税制度の概要

度創設の平成二十年度からの累計は約四千八百一万円となっている。自主財源に乏しい本市にとって、大変ありがたい財源であり、出身者だけでなく、各方面にしっかりとPRしていきたい。

日本一健康なしま大作戦の現状と今後の方針は

質問 特定健診は、個人の健康管理、病気の早期発見ができ、国民健康保険、介護保険税の軽減につながるかと考えるが、日本一健康なしま大作戦の現状と今後の方針は。

答弁 特定健診の受診率向上、減塩対策としての食事の改善、スポーツの推奨を柱に日本一健康なしまづくりを宣言し、町内会の協力を得て、地域ぐるみで受診勧奨と健康づくりに取り組んでいる。来年度も引き続き日本一健康なしまを達成するための減塩対策として食改善推進協議会の協力や食育の推進など食事の改善に努め、加えて軽体操やスポーツの推奨を図るなど、健康づくりに取り組んでいきたい。

問 奈留医療センターの医療体制の充実を

答市としても充実に努めたい



江川美津子 議員

質問 奈留医療センターの医療体制の充実はどのようになっているのか。

答弁 昨年開かれた病院企業団による説明会で、救急患者については三百六十五日二十四時間、医師が常駐する体制を構築し、住民の要望により専門外来を、五島中央病院、上五島病院等の協力をいた

だき充実に努めると説明している。市としてもしっかりと注視していきたい。



奈留医療センター

交通網の基本整備計画を

質問 過疎化、高齢化が進む中、市内全域を対象にした交通網の基本整備計画をつくる必要があると考えるが。

答弁 交通政策基本法関連の法律の整備が進められ、新たな支援制度が創設されようとしている。市としては、こうした制度の活用も図りながら、市全体を見渡した新たな交通網の整備計画や構築について検討していきたい。

住宅店舗リフォーム助成制度の継続を

質問 事業見直しの結果、住宅店舗リフォーム助成制度を廃止するとの方向性が出されているが、今後とも制度を充実させ、継続すべきでは。

答弁 議会からの要望及び四月からの消費税増税による市内経済への影響や今後の景気動向に留意する必要があると考え、制度廃止の方針は堅持しながら二十五年度と同額の予算を計上している。

問 シンクタンク（政策研究所）設置を

答財政、職員数の見直しの中、設置は難しい



中村 康弘 議員

質問 地域経済の動向及び構造についての分析を行うシンクタンクを、職員の政策立案や政策形成能力の向上を図ること、さらに民間事業者の事業展開をサポートするために設置する考えは。

答弁 市役所は地域のシンクタンクの役割を担っており、その中でも企画部門が市全体のシンクタンクであると考えている。また、交付税の合併算定替えの終了に伴い、職員数の見直しを行っていかなければならず、シンクタンクの設置は難しい。

五島古来の伝統芸能に対する考えは

質問 五島古来の伝統芸能及び五島神楽保存に對する考え方と各種イベントへの参加を。

答弁 国指定の「下崎山ヘトマト」や国選択「五島神楽」「オーモンデー」など十三団体に補助し、保存継承に努めている。また、五島神楽は「福江、岐宿、玉之浦、富江」及び新上五島町に「有川、上五島」の六つの神楽が伝承され、総称して五島神楽と呼ばれており、新上五島町や各保存会と連携し、各種イベントへの参加を促したい。

乳牛酪農家の育成方針及び施策についての考えは

質問 乳牛酪農家の育成方針及び施策についての考えは。

答弁 飼料生産請負組織の必要性など、肉用牛と共通する課題も多いことから、関係機関と連携し、省力化・低コスト化を推進させ、経営強化を図りながら、規模拡大、新規参入につなげたい。



五島の乳牛

問 堂崎教会の保存・活用策は

答 構成資産と一体的に保存・活用する



木口 利光 議員

質問 世界遺産構成資産候補から外れた堂崎教会の今後の保存・活用策をどう進めるのか。

答弁 当初の世界遺産構成資産候補から漏れた資産を歴史文化遺産群という位置づけで、構成資産と一体的に保存し、更なる魅力向上に取り組んでいきたい。



堂崎教会

世界遺産登録で久賀島・奈留島の島おこしを

質問 世界遺産登録で二次離島の久賀島・奈留島の島おこしが図れないか。

答弁 登録後の受入体制と島の経済を潤す仕組みづくりが必要であることから、民泊を中心とした体験型観光の基盤づくりを図るとともに、久賀島では椿製品等の販売促進を、奈留島では水産加工品販売や加工業振興などを地元団体と連携して取り組んでいきたい。

交通弱者に対する施策の推進を

質問 高齢化が急速に進み、県内一の有人島を抱える本市での交通弱者対策の重要性と今後の施策は。

答弁 交通弱者対策の重要性は十分認識しており、すでに三井楽で巡回バス、奈留島でデマンドタクシーを運行し、久賀島でも実証運行中である。また、富江地区では調査事業を実施中で、市道南河原線でも需要量を調査していく予定である。

問 消防団員証の発行を

答 今後の研究課題としたい



林 睦浩 議員

質問 本市では各事業所に対して、消防団活動についての協力依頼等を行っている。消防団員に対するサポートとして、団員証を発行しては。

答弁 消防団サポート事業は、団員が市内のサポート事業所として登録された店舗などを利用する際に、団員証を提示することで割引等の優遇措置を受けられる制度であり、県内でも事業を実施している市もあるので、今後の研究課題としたい。

日本領域全体を表記した地図の作成を

質問 子供達が日本の領土を正しく認識するために、日本領域全体を表記し、その位置や隣国との距離感等を正確に把握できる地図を

作成しては。

答弁 日本の領土を学ぶ上で、領域全体を表記した地図の利用は有効であり、今後、新しい教科書に掲載されることも考えられるので、注視していきたい。

日本一のタイトルをつけた釣り大会を

質問 五島は、日本屈指のいそ釣りポイント。日本一のタイトルをつけた釣り大会を開催しては。

答弁 一つのアイディアとして受け止め、釣り具メーカーの全国大会とタイアップしての開催を検討したい。単独での開催の可能性については、観光協会など関係団体と協議していきたい。



日本屈指の五島のいそ

問 青少年のインターネット

ト依存症の対策を

答 学校、保護者、地域での取り組みを強めていきたい



相良 尚彦 議員

質問 青少年のインターネット依存症の現状と対策は。

答弁 インターネットは便利な道具だが、それにのめり込んでしまふと人間関係が弱くなってしまふ、青少年の健全な育成の妨げになるものと考えている。本市の小学四年生から中学三年生までのアンケート調査では、九

十%弱が家庭でインターネット等ができる環境にあり、毎日利用している小学生は十六%、中学生では三十七%おり、依存症と捉えてよいかと考える。今後、

ネット依存を判定する質問

5項目以上に該当は「病的使用」

- 1 あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか？
▶▶▶ 例えば、前日にネットをしたことを考えたり、次回することを待ち望んでいたり、など
- 2 満足を得るために、ネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか？
- 3 ネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことが度々ありましたか？
- 4 ネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとした時、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じますか？
- 5 使いはじめに意図したよりも長い時間オンラインの状態ですか？
- 6 ネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活動のことを台無しにしたり、危うくすることがありましたか？
- 7 ネットへの熱中し過ぎを隠すために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか？
- 8 問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みなどといった嫌な気持ちから逃げるために、ネットを使いますか？

ネット依存判定アンケート

インターネット等の適切な利用について学校教育だけでなく、保護者、地域を巻き込んだ取り組みを一層強めていきたい。

健康づくりポイント制度の導入を

質問 市民参加型の取り組みとして、健康づくりポイント制の提案についての市の見解は。

答弁 現在、スポーツ振興課において、ウォーキングやジョギング等を百日達成した場合に達成賞を授与する取り組みを行っており、これらと連携した健康ポイント制度について検討していきたい。

問 子育て支援策の拡充を

答 支援拠点等の充実を図りたい



橋本 憲治 議員

質問 五島のまちづくりを担う若い世代が、結婚や出産後も本市で暮らせるように、女性の就業率の向上やライフスタイルの変化に対応し、子育て支援策の一層の拡充が必要では。

答弁 今後の子育て支援については、アンケート調査を分析し、五島市子ども・子育て支援事業計画の策定を行い、認定こども園の創設準備や放課後児童クラブの利用範囲の拡充、地域子育て支援拠点等の充実を図っていきたい。

介護保険法の改正についての見解は

質問 介護保険法の改正についての見解は。

答弁 介護保険制度の改正に対応できる体制の構築に向け、高齢者

の方が身近な地域で参加できる居場所づくりとしての地域ミニデイサービスの拡大など、市としての受け皿づくりを進めていきたい。

久賀島デイサービスセンターへの支援を

質問 久賀島デイサービスセンターは、来年度末で閉鎖される予定であるが、継続のための支援をすべきでは。

答弁 地域の皆様とも協議しながら、なるべく早く、今後の方針を決定し、対応策を講じたい。



デイサービスの様子

委員会分科会の審査

総務委員会

問 東京事務所・福岡事務所の運営は。

答 平成二十六年四月から大村市と共同

で東京事務所を、また、単独で福岡事務所をそれぞれ設置し、生産物や加工品の販路拡大、来島者の誘致などを行う目的としており、初年度である平成二十六年度は、五島人会などと連携して、人的ネットワークを築いていきたい。

要望

売り上げ目標も大事だが、修学旅行を誘致しても、すぐには効果として表れない。先を見据えての活動も必要であるので、そのことを考慮した長期の目標設定を。

問 五島体験地域間交流推進事業の概要は。

答 体験型観光の受入体制の強化を目的として、地域間交流によるモニターツアーを実施し、民泊や体験プログラムの質を向上させるもので、今年度設置した奈留・玉之浦・久賀島の体験交流協議会に二十万円、平成二十六年に設置

文教厚生委員会

問 消費生活対策事業の内容は。

答 現在、消費生活相談員を一人配置し

予定の三井楽、岐宿、富江、福江地区に三十万円を交付するものである。

て、支所、出張所と連携しながら、身近な相談窓口として消費者啓発活動を行っている。また、これまで国が行っていた消費者行政活性化基金事業が平成二十五年で終了予定であったが、本市は平成三十一年度まで継続となった。県内の離島自治体で消費生活センターを設置しているのは本市だけであり、これまで以上に消費者行政を推進していきたい。



五島市消費生活センター

経済土木委員会

問 生きがい対応型デイサービス運営事業の委託先及び事業内容は。

答 委託先についてはデイサービス事業を行う通所介護事業所に委託している。

事業内容は、家に閉じこもりがちな高齢者の要介護状態への進行を予防するため、日常動作訓練等の各種サービスをを行い、社会的孤立感の解消、心身の維持向上を図っている。

問 活魚の街づくり事業の概要は。

答 市内での活魚の流通が少ないことから、鮮魚よりも魚価を引き上げる



魚市への活魚水槽の設置

可能性がある活魚を販売するシステムの構築を行うための事業で、具体的な内容としては、魚市への活魚水槽の設置、仲買人が活魚をトラックで運搬できる運搬用タンクの設置、さらに活魚として魚を扱う市内店舗への活魚水槽の設置の整備に対する補助が主なもので、その他に島外向けの活魚の流通について航空便を利用した出荷による実証試験を行う経費についても補助を行う計画である。

問 浄化槽設置整備事業について、事業内容と浄化槽設置の普及率は。

答 浄化槽設置整備に対する補助については、これまで国県の補助金を活用した補助事業分と平成二十四年度から二次離島地区を対象に福江島との格差是正を目的に、久賀島と奈留島について三十万円を、その他の離島地区については最大五十五万円の補助の増額を行っている。新年度については、これらの補助に加え、市全域を対象として改築分については三十万円を、新築分については十万円をそれぞれ補助加算する

議会運営委員会

議会改革の取り組みについて、二月に先進地の行政調査を実施した。

行政調査を実施

◎行政調査を終えて

今回、川崎町、古賀市及び大村市を訪問し、三自治体とも、議会改革の取り組みとして積極的な活動がなされていたことを強く感じました。

川崎町は、地方自治法改正により平成二十五年四月より通年議会から通年の会期に移行したとのことでありました。会期を通年とすることによって、議会がいかなる事態にも即応できる状態となり、委員会活動も活発になることで、執行部に対する監視機能が強化され、さらに、議会が常に活動を続けていくことで、住民に議会の存在意義をアピールすることができるとのことでありました。

古賀市は、基本条例を平成二十六年四月一日施行に向け、議会報告会や政策推進会議実施要綱などの関係要綱の整備に取り組んでおられました。

大村市は、長崎県内で最初に基本条例を制定した市であり、先進地として大いに参考にすべき点がありました。特に、議員間の自由討議が盛んに行われている点に感銘を受けました。

このたびの研修を終えて、五島市議会としても議会基本条例制定

に向けた議会改革に早急に取り組むべきことを再認識したところであります。今後、議会改革を進めていくうえで、「慎重な研究を要すること」と「現在でも改善できること」とに分けて取り組むべきと考えました。

○慎重に調査研究すべきこと

一、議会基本条例制定に向けての調査研究

二、通年議会開催に向けての調査研究

三、反問権について

○現在でも改善できる取組み

一、議会報告会の開催

議会改革を議員の共通認識とし、議員が市民の代表者であることの自覚をもつために、試行的な議会報告会を開催する。

二、委員会での自由討議

質疑終了後に慎重な討論ができるように

議員間で、

自由討議

を行い、
採決は委員会の最終日に行う。



川崎町での調査

◎国境離島活性化推進 特別委員会を設置

設置期間は

平成二十六年三月二十七日から
平成二十九年二月二十六日まで

・(仮称)国境離島特別措置法の制定に向けた推進活動並びに、国境離島に関連する諸施策の調査研究及び国県への要請活動を行う。

委員長 林 睦浩
副委員長 三浦 直人

谷川 等
神之浦伊佐男
村岡 末男
草野 久幸
野茂勇司臣
中村 康弘
清川 久義

編集後記

三月定例会が開催され、平成二十六年年度の当初予算が成立しました。

今年は五島市誕生十周年の記念すべき年です。平成十六年八月一日、旧福江市・旧富江町・旧玉之浦町・旧三井楽町・旧岐宿町・旧奈留町が合併いたしました。この十年、本市においても、市民の皆様においても、大きな変化があったことと思います。

平成二十六年度は、本市にとりまして、大切な年になります。まずは国体本番まで秒読みとなつてまいりました。去る二月八日・九日は島外から二千名余りの方々が来島され、「第三十回九州高等学校選抜剣道大会」が開催されました。この大会は、十月本番



(野瀬 健一)

前のリハースル大会として開催され、無事終了することができました。これも、大会運営等に携わった関係者のご尽力だと思っています。大変お疲れ様でした。また、選手の真剣勝負の姿に、感動や勇気をもらった二日間でもあり、十月の本番に向けて、本市全体で協力し、成功に導いていきましょう。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>